

授業公開

保護者の皆様、先日は土曜日の授業公開に多数のご参観をいただきありがとうございました。授業公開は「道徳地区公開講座」として行われたので、メインは3校時の道徳の授業でした。今回扱った題材は「ふたつの心」という話で、クラスの中にいる、いつも自慢げで、配慮のなさから無意識のうちに人を傷つけてしまう女の子がクラスメートから無視をされ、それを見ていた主人公は「いい気味」と思うが、同時に話しかけてあげないことに対する「後悔」の二つの気持ちで揺れ動くという物語でした。5月に弁護士さんを招いて行った「いじめ防止」の授業から始まり、ここまでトータル4回にわたって「いじめ」をテーマに道徳の授業を進めてきました。「いじめに当たるのは」でいじめの定義を考え、いじめが起きた際に多くの人が当てはまる「傍観者」についても考えました。そして今回はいじめの中で最も多い「無視」について考えました。

「無視」は直接相手に暴力や暴言をしているわけではないからたいしたことない、と思っている人もいるかもしれませんが、「無視」は相手の人格や尊厳、在り方を行動態度で否定することを意味しています。だから、無視も仲間外れも決して軽いいじめではないのです。今回の話では確かに相手にも原因はあったかもしれませんが、しかし、だからいじめていいかと言うと、そんなことは絶対にありません。いじめはプラスマイナスゼロといった考え方ではないのです。いじめは卑怯な行為です。たとえ相手が最初にいじめていても、同じように自分もいじめという手段で対抗したら、相手と同じ卑怯な人間だということになります。では、どうしたら、ということのをこれまでの授業を通して考えてきました。行動することは勇気があることだと思います。直接いじめをしている人に行動を起こすことが難しい人もいるでしょう。でも、いじめられている人を支えてあげたり、直接具体的な話はできなくても、「おはよう」と明るく挨拶をしてあげる、大人のを借りるなど、できることはたくさんありますし、実際に授業では多くの意見を出してくれました。自分たちが所属する集団が誇れる集団であり続けるために、これからも考え続けていってほしいと思います。



学年の先生のつづき ~今週は當麻先生より~

夏休みが近づいてきました。私はこの季節になると、頭の中に映画「サマーウォーズ」の主題歌（『僕らの夏の夢』山下達郎）が流れ始めます。この仕事をしていると、「先生って夏休みがあるからいいよね」などと友人から言われることもありますが、実際には毎日定時で出勤しているため、実は夏休み中も生活リズムは普段と全く変わりません。でも、学期中に比べると、気持ち的にはいくらか楽になります。毎年「せっかくだから何かしよう」と思いつつ、結局、意外とやるべきことが多く、プライベートでは何もしないまま終わっています。しかし冷静に考えてみると、40日近くあるわけですから、毎日ちょっとの時間でも、続けていけば大きな成長につながる期間だと思います。最近、授業外で英語に触れる機会が減っているので、この夏は自分の英語力のブラッシュアップに取り組みたいと思っています。みなさんもぜひこの夏は普段はできないことにチャレンジしてみましょう。

保護者の方への連絡

今週、1学期末考査の成績表を配布しました。中間考査の時と同様に、生徒は振り返りを書き、保護者の方に見ていただき、コメントをいただくことになっています。点数という「結果」についてだけではなく、授業や普段の家庭学習の取り組み（「過程」）について、どのようにしていったら良いかをご家庭でお話しいただければと思います。成績表は三者面談で活用させていただきますので、面談日までにご提出ください。

<来週の予定>

7/12(月) 三者面談期間(始) ~7/19(月)

中学校生活の最初の1学期を振り返り、夏休みや2学期以降の過ごし方について、生徒・担任・保護者の方で話し合います。この面談の主人公は生徒のみなさんです。みなさんがより良く生きていくための前向きなお話をしたいと考えています。生活や学習について、この1学期の振り返りを話してもらいますので、準備をしておいてください。

①道徳 「風を感じて」

義足のランナー 村上清加さんのお話から、挑戦し続けることについて考えていきます。

7/16(金) ④総合 キャリア学習 キャリアパスポートについて

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
12	月	○	道	②	③	④	—	—	生徒朝会、あいさつ運動~16(金) 三者面談(午後)~19(月)
13	火	○	②	③	④	⑤	—	—	
14	水	○	①	②	③	④	—	—	
15	木	○	①	②	③	④	—	—	
16	金	○	①	②	③	総	—	—	あいさつ運動(終)
17	土								

*もうすぐ夏休みです。夏休みに入る前に、学校に置いてある荷物は基本的にすべて持ち帰ることになります。1学期の最後の授業が終わった教科のものから順次持ち帰りましょう。